

神奈川県剣道連盟 第3回幹部会議

日 時：令和7年6月5日（木） 12：50～16：40

場 所：県立武道館

出 席：野見山会長、佐藤副会長、吉村副会長、小山副会長、松原副会長、上野副会長、高野副会長、伊藤専務理事、滝澤監事

事務局：中島事務局長、高田副事務局長

欠 席：飛知和副会長、吉野監事

1. 開 会

議事進行：伊藤専務理事

2. 会長挨拶 野見山会長より開会の挨拶

3. 議 題

【協議事項】

(1) 令和6年度事業報告・収支決算について

別紙 1

〈石田会計担当事務局員よりの報告を含め会長のまとめ〉

- ・会員数は前年度に比して減少しているが、事業活動収入計は469万173円増えている。
- ・事業活動支出計と差し引きすると、277万7562円のマイナスとなるが、その他雑収入の168万6000円とも相殺すると約100万円の赤字となる。
- ・また予備費支出の予算額700万円は実際には使用していないので、実質はプラスにはなる形になっている。
- ・令和5年度は1300万円の赤字であり、大幅に改善はしているが、予備費を除けばまだ現象とは言え赤字であり、改善の余地がある。以上が6年度の決算の報告になる。

註

- ・令和5年度まで旅費交通費として支払われていた謝金を謝金としてまとめ、用途をはっきりとさせている。このため謝金の項目が昨年比で格段に増加している。
- ・事業活動支出の諸謝金支出と管理費支出の諸謝金支出に関して、その区別は、事業活動支出の諸謝金は大会や講習会などの事業に対する謝金であり、管理費支出の諸謝金は理事会などの会議に対する謝金。

〈滝澤監事より監査報告〉

5月23日に石田さんと詳細な監査を行った結果、疑問点は全て解消されました。ただし、前年度決算の赤字は確かであり、この赤字を黒字に転じる努力が必要です。一般社団法人として営利目的ではないことは承知していますが、赤字は望ましくないため、その解消に尽力していただきたいと思います。

お手元の資料内容で監査が終了したことをご報告いたします。以上です。

→ 決算書承認

(2) 令和7年度事業計画(案)及び収支予算(案)について

別紙 2

〈石田会計担当事務局員より説明〉

※財産目録の最後に、「令和7年3月31日をもって神奈川県剣道連盟を解散して、一般社団法人神奈川県剣道連盟に財産を譲渡します。」という一文を入れる。

→ 予算書承認

(3) (7)理事会規則 250401 の修正(案)について

資料 1

現行の理事会規則第4条での部分修正

→ 承認 総会(理事会)に諮る

(4) 審議員について

・根岸先生と吉村先生が範士になられたので、県連の審議員に推薦したい。

→ 承認 総会(理事会)に諮る

(5) 令和7年度 剣道有功賞顕彰の推薦について

資料 2

・居合道、杖道からも候補者を出してもらい、次回7月の幹部会議で推薦者を最終決定する。

(6) 第64回関東七県対抗剣道大会について

資料 3

〈小山副会長より説明〉

・詳細な説明があり、当番県の経済的負担につき協議会で検討をお願いすることを提案。

本年度については今回の予算通りで理事会に諮る。

→ 承認

(7) 関東七県対抗剣道大会 審判員の選考について(案)

・審判候補は竹井 浩司、石原 和彦、日高 徳幸、宮崎 史裕、安藤 守、辻山 和良

→ 承認 今後、委嘱を行う。

(8) 県連ホームページのリニューアルについて

資料 4

→ 承認 総会(理事会)に諮る

【報告・確認事項】

(1) 神奈川問題について

〈野見山会長〉

・「訴状受領の報告」を支部宛てにメール配信、および県連HPに掲載。

・今後はまず重富弁護士との委任契約を正式に締結し、着手金支払い、裁判につき適切に対処していく。

→ 承認 この契約については稟議書を作成し進める。

(2) 全剣連評議員について

現状報告があり、対処していく。

(3) 滋賀県国スポチームとの練習試合結果報告

資料 5

- ・神奈川県チームに国スポ代表、教職員代表、一般などの混成となったが、社会人チームも多くの選手が参加し、充実した試合や練習を行うことができた。特に社会人チームは、貴重な機会となり、大いに喜ばれた。
- ・桐蔭横浜大学の学生の皆さんには、大変お世話になった。2 日間にわたって試合や練習場の提供など、多くのサポートをしていただいた。
- ・理事会に報告する。

(4) モルディブへの剣道具の寄贈依頼について

資料 6

- ・モルディブの日本大使館の駐在員から、村井先生を介して剣道具（子供用を主とした）寄贈の依頼があった。
 - ・送料が高いため、まずは大使館員が一時帰国した際に持ち帰れる程度の量で検討したい。
- 案を作り、総会（理事会）で提案する。

(5) 令和 7 年度少年剣道教育奨励賞候補推薦依頼について

資料 7

提出期限：令和 7 年 8 月 2 0 日（水）

- ・ 5 月 3 0 日（金）各支部事務局宛てにメール配信し、県連HPに掲載した。

(6) 県剣道錬成大会及び県青少年剣道選手権大会の参加賞と後援申請について

- ・後援を神奈川新聞社、t v k、県スポ協に申請中。（去年は申請なし）

(7) 県錬成大会における出店について

- ・今年度 8 月 3 日の県錬成大会においては、真剣堂が出店する予定
- ・以降は、子供たちが参加する大会に持ち回りで出店予定（順番に声をかける形で）

(8) 令和 7・8 年度一般社団法人神奈川県剣道連盟役員名簿の製本について

- ・ 6 月 1 2 日の社員総会時に配布予定

(9) 登録人口調査について

資料 8

- ・登録人口調査の結果、合計 1 万 5630 人の登録があり、前年の 1 万 6175 人と比べて約 500 人減少。
- ・減少傾向は特に中学生と小学生に顕著で、中学生は 495 人、小学生は 177 人減少。
- ・一般登録者数は 30 人増加、大学生は 2 人増加、高校生は 6 人増加。
- ・中学生登録者の特徴として、女子が全体の 3 分の 1 を超えている。
- ・中学校の部活動廃止に伴う地域移行モデルが種々試案されており、各支部ですでに行われている対策なども調査したい。
- ・12 月の県大会に向けて具体的な案を策定し、子供たちの希望に沿った活動モデルを目指せるようなものとしたいと考えている。

【大会・講習会等予定】

(1) 関東七県剣道協議会、関東七県対抗剣道大会抽選会について

- ・令和 7 年 6 月 1 9 日（木）に神奈川県立武道館会議室で開催

(2) 第42回剣道八段受審者研修会について

- ・令和7年6月28日(土)神奈川県立武道館で開催
- ・主任講師：伊藤 陽文
- ・講師：吉村 哲夫、小山 則夫、安藤 守、有馬 裕史、今里 学、高野 力
- ・立会：中田 圭介、三崎 恭裕、加藤 公一、小田 雅義、高鍋 進、北条 将臣
- ・受講者：58名(前回：75名 前年同期：56名)

(3) 剣道(審判法)講習会について

- ・令和7年7月12日(土)神奈川県立武道館で開催
- ・講師：石原 和彦、有馬 裕史、辻山 和良、三崎 恭裕

(4) 第17回全日本都道府県対抗女子剣道優勝大会について

資料 9

- ・令和7年7月13日(日)日本武道館で開催

(5) 第79回国民スポーツ大会関東ブロック大会組み合わせ抽選会について

- ・令和7年7月16日(水)ALSOK ぐんま武道館で開催

(6) 関東七県対抗剣道大会について

- ・令和7年7月20日(日)神奈川県立武道館で開催

(7) 第67回全国教職員剣道大会について

- ・開催日：令和7年8月1日(金)愛知県パークアリーナ小牧で開催

(8) 剣道(八段・七段・六段)審査会について

- ・5月7日(水)に各支部事務局宛てにメール配信し、県連HPに掲載しました。

(9) 第64回全日本女子剣道選手権大会県予選会について

資料 10

(10) 第47回神奈川県剣道錬成大会について

資料 11

(11) 第75回日光剣道大会

- ・令和7年8月17日(日)日光東照宮武徳殿で開催

(12) 第79回国スポ関東ブロック大会剣道競技について

- ・令和7年8月23日(土)群馬県 ALSOK ぐんま武道館で開催

(13) 剣道(剣道形)講習会について

資料 12

- ・令和7年8月23日(土)神奈川県立武道館で開催
- 申込締切日：令和7年7月25日(金)

(14) 第69回神奈川県青少年剣道選手権大会について

資料 13

- ・令和7年8月30日(土)神奈川県立武道館で開催

【大会結果】

- ①第17回県女子剣道大会
- ②第17回全日本都道府県対抗女子剣道優勝大会県予選会
- ③第72回関東高校剣道大会神奈川県予選
- ④第79回国民スポーツ大会剣道競技県予選会
- ⑤第72回全国高校総体神奈川県予選
- ⑥第39回神奈川県道場少年剣道大会
- ⑦第47回 全日本高齢者武道大会（剣道）

【審査会結果】

- ① 剣道審査会合格者
 - ・ 剣道錬士：14名合格、剣道教士：17名合格
 - ・ 剣道七段：14名合格、剣道六段：17名合格
- ② 合審査会合格者
 - ・ 居合道錬士：6名合格、居合道教士：3名合格
- ③ 杖道道審査会合格者
 - ・ 杖道教士：1名合格

4.その他

（1）TICAD GAMES2025 審判派遣および後援依頼について

TICADとは、Tokyo International Conference on African Development（アフリカ開発会議）の略であり、アフリカの開発をテーマとする国際会議です。1993年以降、日本政府が主導し、国連、国連開発計画（UNDP）、世界銀行及びアフリカ連合委員会（AUC）と共同で開催しています。2022年8月27～28日には、チュニジアのチュニスで第8回アフリカ開発会議（TICAD 8）が開催されました。同会議には、20名の首脳級を含むアフリカ48か国が参加しました。日本からは岸田総理大臣がオンラインで参加し、林外務大臣（総理特使）がサイド・チュニジア大統領及びサル・セネガル大統領（AU議長）とともに対面で参加しました。

次回のTICAD9は、2025年8月20日～22日に横浜で開催予定です。

このTICAD9の懇親行事としての剣道大会へ後援依頼、後援および審判推薦予定で検討する。

（2）支部大会等への出席時の旅費・日当について

- ・ 支部から支部大会等への出席依頼が来た場合、その際の出席者への旅費・日当は県連が負担するので、支部からは頂かないということを徹底する。

※次回の幹部会議は、7月3日（木）13時～ 県立武道館

※社員総会は、6月12日（木） 18時30分～ かながわ県民センター

5. 閉 会